

檜洞丸—蛭ヶ岳—ユーシンロッジ—雨山峠

山行日：2013.11.22～23 メンバー：T.H 単独

天候：晴れ

コース：**11/22** 西丹沢自然教室/8:35—檜洞丸/11:20—蛭ヶ岳/14:55 **11/23** 7:05—棚
沢ノ頭/8:00—ユーシンロッジ/10:35—雨山峠/11:35—寄/13:45



東沢の紅葉

犬越路—大笄ルート

急峻なつつじ新道





静かな檜洞丸山頂

開放的な青ヶ岳山荘と
左奥には
瀟洒なトイレ

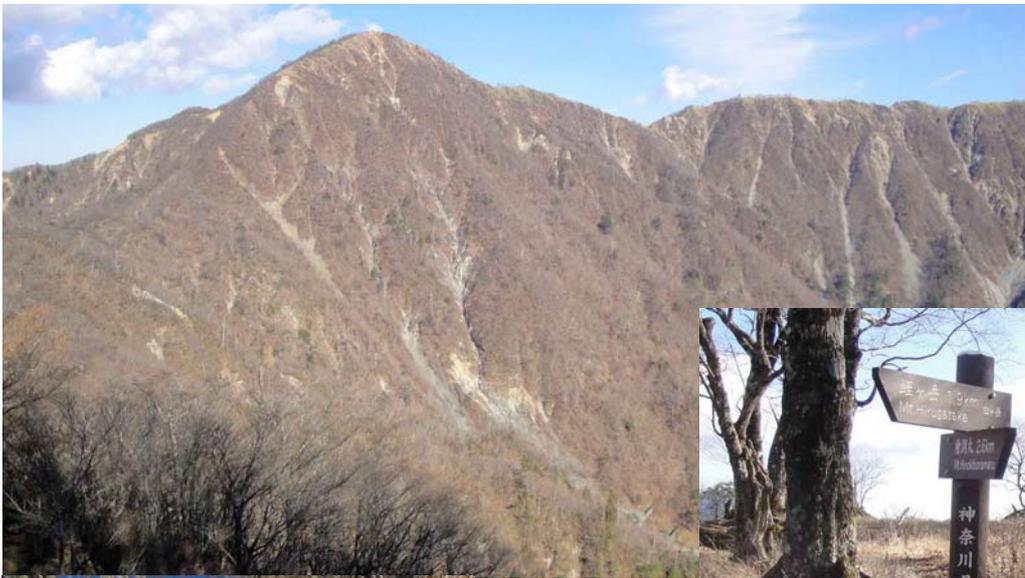


これから向かう蛭ヶ岳への稜線

金山乗越

神ノ川乗越、稜線中唯一の水場





臼ヶ岳からユーシンロッジ
へのバリルートは右へ降へ
蛭ヶ岳が目の前に聳えている



クサリ場が
数箇所あり



高度感抜群のルート（右下は神ノ川）



草付きとなると山頂は近い
山頂にはこの時間だれも居なかった



蛭ヶ岳山荘定員 41 名のところ本日は 17 名
明日は 80 名で布団 1 枚に 2 名寝ることになる



丹沢三峰と宮が瀬湖

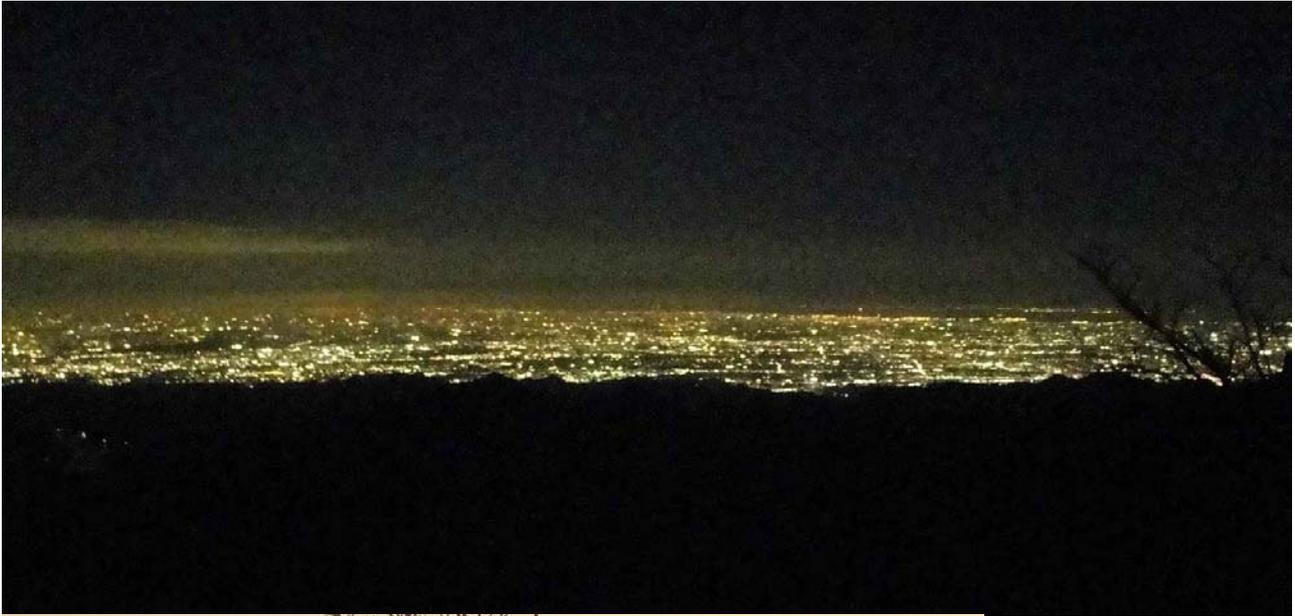


袖平山～焼山



頑張った自分にごほうび
寒いせいかベンチには小屋から誰も出てこない





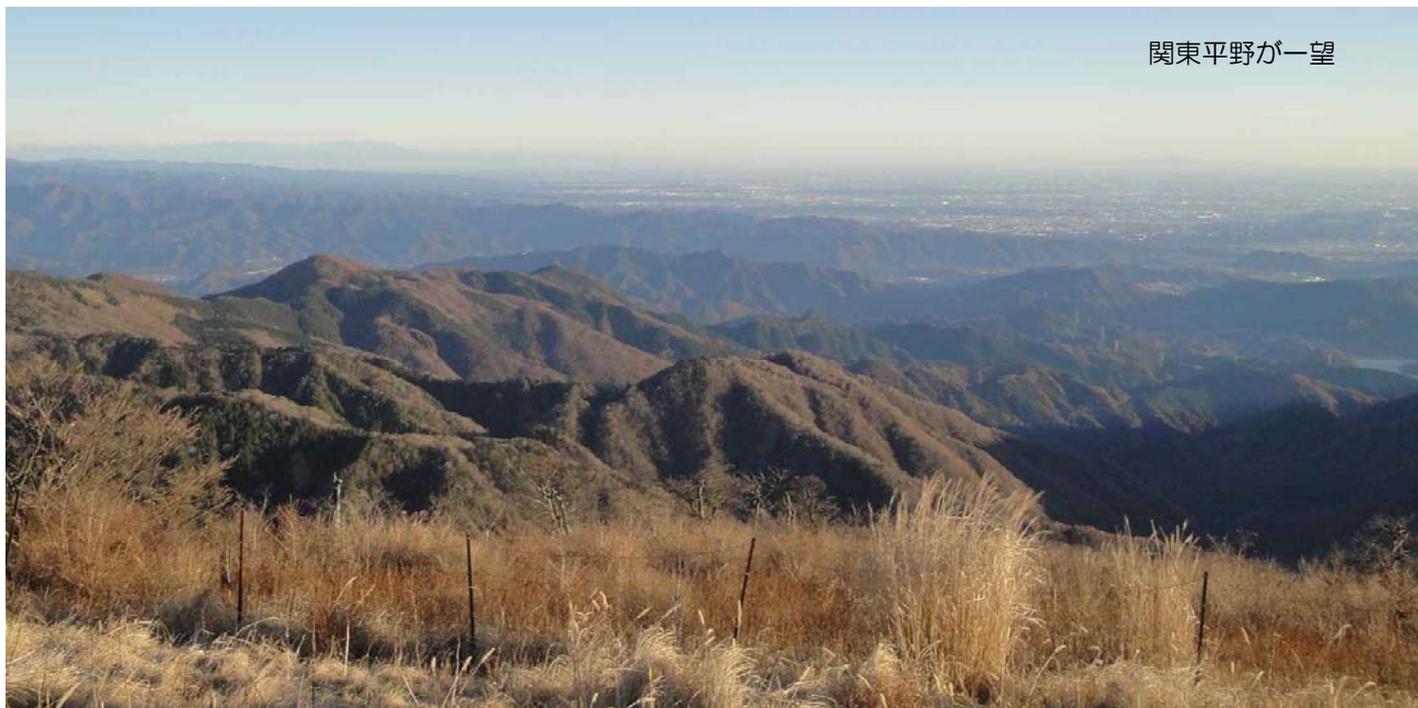
横浜方面の夜景
一面宝石を散りばめた
ような光景が

房総半島からの日の出



手前左、同角ノ頭一檜洞丸 富士山と南アルプス全山

関東平野が一望



駿河湾と箱根と
手前はこれから
ユースンに向けて
降りる尾根



蛭ヶ岳稜線の
見納め





いよいよ下降開始



一気に気持ちよく下っていきます



弁当沢ノ頭は植林帯 標識全くなし方向を定めてゆく



臼ヶ岳から蛭ヶ岳の稜線

弁当沢ノ頭から標高差 500m の急勾配を降りる
転げ落ちるようだった





棚沢ノ頭からの尾根の最先端部に降り立つ
橋が一部崩落しており脚立で河原に降りる



ユースンロッジは
大混雑していた
避難小屋として二部屋と調理室が開放されていた
但し宿泊 2,000 要す。綺麗に掃除されていた
雨山峠で電池が切れてしまって撮影はおしまい

